

平成29年度

第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成29年度第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成29年8月28日(月)

開会 午後2時00分

閉会 午後4時05分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	坂 東 英 司
教育長職務代理者	大戸井 美 生
委 員	重 清 由 充
委 員	森 勝 正
委 員	庄 野 憲 二
委 員	西 淵 利 江

4 会議出席者

教 育 次 長	妹 尾 明
教 育 次 長	湯 藤 義 文
教 育 総 務 課 長	猪 尾 正
学 校 教 育 課 長	成 谷 史 代
社 会 教 育 課 長	坂 東 孝 一
学校給食センター所長	野 崎 順 子
(書記) 教育総務課係長	原 井 亜 紀

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 平成29年度教育委員会一般会計補正予算(第3号)について
- (4) 平成28年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について
- (5) 準要保護の認定について
- (6) その他

会議の大要は、次のとおり。

【坂東教育長】定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【坂東教育長】送付いただいております会議録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【坂東教育長】7月26日から8月28日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

【重清委員】18日の教育文化講演会はどれくらいの参加があったのですか。

【成谷学校教育課長】200名以上は来られていました。

【重清委員】木村先生の学校では、支援が必要な子どもも同じクラスでありながら、自分たちで何もかも考えさせ、それに寄り添うということや、その取組が全国学力テストの成績にどのように反映されるのかというようなことを拝聴でき、先生方にとってもプラスになる講演であったのではなかろうかと思いました。

【森委員】今年は、これまでと違った路線の講演会ということもあって、職員はどのように受け止めたのかなと思いました。ICTを活用した教育で実績をあげるようにということもあり、このあと出てくる評価に関する報告書の中にも、関係者の努力や牽引力に期待したいというようなことや、職員がただ単にするのではなく、進む方向性をしっかりと打ち出してというようなことも求められているような記載もあったように思います。また機会をとらえて、ICTも進めていけるような研修会や講演会を是非とも持っていただきたいと思います。

【庄野委員】木村先生のお考えというのは、一人ひとりの個性を大切にしていこうという非常に大切な基本的な考え方で共感したのですが、それはそれとして、もうひとつは全体の学力をつけていく必要性もありますし、両方でしていく必要があるのではないかという感じは受けました。

【重清委員】今日の徳島新聞の読者の手紙に「ICT教育さらなる推進を」ということで投稿されていた方がいました。そこには、本県教員のICT活用指導力は全国第3位とあって、徳島県は凄いと感じました。中でも阿波市は

I C Tの活用を積極的に進めていますので、レベルが高いのかなと思いましたが、こういうのを見ますと、I C Tやアクティブラーニング、プログラミングなど、今後、子どもの学力向上のためにやるべきことがたくさんあります。これからの先生方は、いろいろなことを把握しておかないと子どもの力を引き上げられないので、授業を行う上においても準備にかかる時間等大変だと感じています。

【坂東教育長】 今のお話にもありましたが、市教委としては、学力やI C Tについて大きな方針は出しております。ただ現実には、各学校の校長指導のもとすべきものと考えておりますので、細かいことについては触れておりません。大きく学校教育全体の中でというような方針になっておりますので、それを各学校でどのように生かしていただけるかというところであります。

【庄野委員】 先ほどの教育長の報告の中で、8月25日から2学期が始まり、エアコンも稼働したということですが、あの日は非常に暑くて心配していらしたので安心しました。もう一点は、夏休みを短縮して2年目になるのですが、今年から給食も始まったのですね。昨年も調べたとは思いますが、この1週間の欠席数がどれくらいかということが知りたいです。この頃ニュースでもよく言っていますが、2学期の始めが非常に不安定な子どもがたくさんいるということですので、阿波市は欠席数がどのようになっているのか心配になりました。そのようなこともあり、調べていただけたらと思います。

【森委員】 講演会の中で、避難訓練というのは突然しないと意味がないというようなことをおっしゃられていました。私も現職の時には、避難訓練を突然した年もありました。なんとなく落ち着かないということもあり、あまりしたがらないのかなとは思いますが、あらかじめ想定されたことがあって、筋書きが決まっているのではなくて、休み時間に突然するような方法も学校に取り入れてもらいたい気もします。

【坂東教育長】 その件につきましても、校長会等でお話したいと思います。

【坂東教育長】 「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 平成29年度教育委員会一般会計補正予算（第3号）について

【坂東教育長】 事務局に説明を求める。

【妹尾教育次長】 平成29年度教育委員会一般会計補正予算（第3号）について説明。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「平成29年度教育委員会一般会計補正予算（第3号）について」を了承する旨を告げる。

(4) 平成28年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【妹尾教育次長】平成28年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について説明。

〈質 疑〉

【重清委員】5ページの学力向上推進講師派遣事業の事業費ですが、昨年よりだいぶ減っているように思いますが、これは講師の人数の関係で減額になっているのですか。

【成谷学校教育課長】人員的には一緒です。今年度予算も19,000千円となっています。昨年分は、旅費が教育総務費で予算化されていたこともあって少なくなっています。

【重清委員】同じく5ページのAWA産OUR消MYメニューコンクールは大変良い企画だと思います。今後も続けていただけたらありがたいと思いました。

【野崎学校給食センター所長】今年も夏休み中に行っておりますので、そろそろ学校から上がってくる頃かと思います。

【重清委員】6ページの(5)人権教育活動事業がかなり減額になっているのは事業の関係ということでよろしいでしょうか。

【坂東社会教育課長】はい、そうです。

【重清委員】(6)文化財保護事業も半分以下に減額されていますが、どういった経緯でしょうか。

【坂東社会教育課長】国から補助をいただいて、文化財の修繕を行ったりするのですが、それが無い時は予算が下がる傾向にあります。今年、野神の大センダンの整備事業を13,000千円ほどで行っておりますので、来年度については事業費が上がってくるというかたちになります。

【庄野委員】この報告書を見て、阿波市はたくさん事業をしているなど感心しております。特に、学校に関して言わせてもらおうと、英語活動事業、適応指導事業、学力向上推進講師派遣事業で先生方をたくさん加配してくださっているの、学校は非常にありがたいと感じていると思います。先日、文科省は教職員を3,800人増員要求するということで、その内容として、英語や生

徒指導といった阿波市では既に行っているようなことに対応していくということだそうです。3,800人といっても大きな学校に配置されて、阿波市には配置してくれないのではないかなと思っています。そのような中、阿波市ではこのように職員を配置していただいて、非常にありがたいです。学力向上推進講師派遣事業というのはいつか終了するのですか。確か、国とタイアップして始まりましたよね。

【坂東教育長】そうですね。地方創生でスタートした事業です。

【成谷学校教育課長】1年だけですので、平成27年度のみのものでした。昨年度は、市の単独事業として行いました。

【庄野委員】是非これは続けていただきたいなど。やはり、人がいないと学校は非常に苦しいと思います。人が1人増えるだけでいろいろな面でありがたくて、活動が深くできるような気がします。

【成谷学校教育課長】先ほど、重清委員がおっしゃられていた学力向上推進講師派遣事業費の3,000千円の差額ですが、これは人件費ではなくて、最初の27年度は交付金で18,000千円いただきました。これは備品にも使えるということでしたので、学力向上推進講師のパソコン購入費が含まれています。あとはすべて人件費です。

【重清委員】先ほど、庄野委員がおっしゃられていましたが、8月25日の新聞の1面に教職員3,800名増要求という記事がありました。これが実現すると、先生方も授業の準備に時間を費やせると書いてありましたが、全国で3,800人では全然足りないように感じました。阿波市については、その点で配慮していただいています。どの学校の先生方もすべきことがたくさんあって時間が足りない状況にありますので、阿波市も積極的に手を上げてというわけにはいかないでしょうか。配置については、県が決めることなのでしょうか。

【坂東教育長】3,800人と言いつつ、学区減で定数が3,000人減りますので、全国で実質500~600人くらいになるのではないのでしょうか。

【湯藤教育次長】概算要求の段階ですので、なかなか額面どおりには難しいです。

【坂東教育長】都会になると大体40人学級でしょ。徳島の場合は35人と頑張ってくれていますので、そのあたりは評価できますよね。

【森委員】学識経験者の所見に「今後は学校図書館との連携も進めていくべきだと思います。」とありました。市の図書館が学校の図書館を通じてする事業で、学校側からみたところが19ページにあって、そこには学校と図書館の連携ということで記載があります。ところが、40ページと41ページの図

書館からみた具体施策には、小・中学校図書館との連携ということが書かれていませんので、恐らくここを見てこのように書かれたと思います。実際、学校へ行くと図書館や廊下に市の図書館から持ってきた本があり、次々と新しい本に交換したり、連携ができてるように思います。図書館側の事業に学校との連携について書くと、この先生が全く違った意見を述べたことになるし、このままおいておくのであればどうなのかなと。片一方で学校と図書館との連携ということが入っているのに、どう扱えばいいのかなと。私自身結論は持っていないのですが。

【坂東教育長】森委員がおっしゃられたように、小学校には学級文庫というかたちで図書館から本を持って来たりして連携はできています。図書館職員に学校図書館の整理など、十分ではないですがお手伝いはしていただいています。

【坂東社会教育課長】現在、指定管理者の独自事業として、御所小学校の図書を月2回くらい整理してもらっていますが、それ以外のサービスとして、伊沢小学校、市場小学校、八幡小学校、柿原小学校にも日は少ないですけども行っていただいています。他の学校からも要望はあるみたいですが、指定管理者の方も職員が少ないので、なかなかそこまではできない状況です。全校行くととなると、人件費の負担が大きくなってきますので、指定管理料にも影響がありますが、学校図書へのサービスの充実といったところの話は管理者ともしています。

【森委員】全校でしているのではないんですか。私のいた学校ではしていたので、全部の学校でしているのかと思っていました。最後についている重要施策の業績評価指標一覧ですが、平成28年度の実績と目標値を比べて、目標値の方が低いものがあります。少なくとも現状維持か、あるいは目標値を増やすようにした方がいいんじゃないのかなと思います。達成が難しいから低めに設定してあるのでしょうか。

【猪尾教育総務課長】最初から決めてあります。

【成谷学校教育課長】既に達成されているということです。

【森委員】これは達成されているということでもいいんですか。今後の目標値なのかなと勘違いしていました。

【妹尾教育次長】振興計画の中に目標値を掲げています。

【森委員】私みたいに勘違いする人がいるかもしれないので、何か説明する言葉を入れていただけたらと思います。

【妹尾教育次長】はい、検討させていただきます。

【大戸井委員】62ページ、63ページの文化財と歴史館のことです。昨年もい

ろいろ質問させてもらいましたが、28年の評価を受けて今年度事業を組まれていると思います。今現在のことをお聞きしたいのですが、ホームページやガイドブックの進行状況というのはどうなっていますか。

【坂東社会教育課長】 実際、厳しい状況にあります。昨年度までいた職員が異動して、4月から新人職員が配置され、今のところは仕事を覚える、また市内のいろいろな史跡を学んだり、基本的な事務で手一杯の状態であります。そのようなこともあり、具体的なマップ作りといったところまではできていない状況です。現在、いろいろ勉強して、少しずつそういったものが作れるようにしていきたいとは考えていますが、進んではいない状況です。

【大戸井委員】 歴史館の入場者数が少なかったということを受けて、有効利用をとということもあったと思います。ここにも書かれているように、機能拡充及び定期的な企画展の開催に向けた準備として、資料等の収集に努めたとありますが、これを受けての企画展等の進行状況というのはどうでしょうか。

【坂東社会教育課長】 それも人的なことだったり、奈良坂の発掘が終わったばかりということもあって、そこの整理をするのも厳しい状況です。資料は集めていますので、時間がそちらにまわれば、企画展もできると思います。非常に利用人数が減ってきていますので、やりたいとは考えています。

【大戸井委員】 では、担当が新しい方になったということは、この62ページ、63ページの29年度の評価は後退する可能性があるということでしょうか。

【坂東社会教育課長】 やはり、10年以上専門的な立場で仕事をしていた職員からほぼゼロというかたちになって、発掘調査なんかはしたことがあるように聞いたのですが、阿波市内の文化財については十分できていないということもありますので。

【大戸井委員】 以前のこの事業のシートには、学芸員の増員に努めますというような記載があったと思いますが、今回のシートからはその記載が無くなっています。お話を聞くと、ベテランの方が異動されて新人の方が入られたということを受けてどうなのかなという気はしています。その対策というようなことはどうでしょうか。

【坂東社会教育課長】 社会教育課としましては、文化財に関する人材というか、そういったところを充実させてほしいというようなことは人事の方へ要望していきたいとは思っていますが、事務事業に関する報告ということからその部分は割愛しています。

【大戸井委員】 歴史館の利用者数が落ち込んでいますし、もったいないですのでお願いします。

【庄野委員】 ひととおり見させていただきましたが、事業の方向性ということ

で「見直しのうえ継続する」というのがいくつかありました。ひとつは防災教育の充実で「防災計画と合同訓練を実施します」というのと、もうひとつは幼稚園の英語教育で見直しをするようになっていたと思います。幼稚園だけでなく、認定こども園でも英語教育をしていくという方向性を打ち出していると思うのですが、29年度はこのふたつの事業についてどうでしょうか。

【成谷学校教育課長】幼稚園の英語活動については、昨年度は試行的に幼稚園で3回だけさせていただき、子どもたちもすごく喜んでいました。今年度は、認定こども園も含めて年6回実施することになっています。ALTか英語講師のどちらかが行くようになります。今日の午前中、一条幼稚園へ参観に行っていました。ジェニファー先生が来られていて、「今日は動物を覚えましょう。」ということで、子どもたちはすごく楽しそうにしていました。授業中、講師は英語しか喋らないのですが、子どもたちはよくわかっていて、ゲームもできるので本当にびっくりしました。確かに、授業は6回と少ないのですが、先生方にも歌などを一緒に覚えてもらって、講師がいない時には幼稚園で音楽をかけてもらおうと皆で覚えられていいのではないかなと思います。

【庄野委員】今のことと関連してですが、英会話教室の28年度実施状況で141回開催し、延べ67名の参加とあるのですが、これで合っているのでしょうか。半分以上0人の回があるのかなと。

【坂東社会教育課長】実人数ですね。

【森委員】登録されている方というか、会員になっている方という意味ですね。

【重清委員】学識経験者の先生も、受講したかったけど時期を逃したと書いてありましたね。広報が十分できていなかったのでしょうか。

【成谷学校教育課長】途中から受講することもできます。

【坂東教育長】是非、参加していただきたいですね。いけるでしょ。

【坂東社会教育課長】はい、途中からでも大丈夫です。

【大戸井委員】防災のことですが、学校防災マニュアルとか防災計画というのは、立地条件に応じた具体的なマニュアルとか計画になっているのでしょうか。

【成谷学校教育課長】はい、各学校で作られています。例えば、浸水しそうな所でしたら一条・柿原・八幡・林小学校で、中学校でしたら吉野中学校で、今年、水防計画を作ってもらいました。

【重清委員】先ほどの英語の件ですが、幼稚園だけでなく、認定こども園でも英語活動を行うということですが、これから認定こども園は公立と民間とできますよね。公立ではALTにお願いできますが、民間の方にもそれに等し

い活動はお願いできるのですか。英語活動をするかどうかはわからない状況ですか。

【成谷学校教育課長】民間となれば、民間のやり方となりますので。

【妹尾教育次長】民間でもらう園については、英語活動をする必要性があるのであれば、募集の時にそれも加味して選考します。

【重清委員】公立だと英語を教えてくれるけど、民間なら水泳を教えてくれるとか良いところがそれぞれにあります。阿波市は英語活動を重視しているということもありますので、考慮いただければと思います。

【妹尾教育次長】それについては、募集の時の仕様書に小学校につなげるためのレベルアップというような文言を入れることはできます。

【森委員】最後の重要施策の業績評価一覧表の一番下を見てみると、中国語・韓国語教室という記載があります。韓国語教室が何人というのは出てきますし、82 ページにもあります。中国語教室については記載がありませんが、どうなのでしょう。

【坂東社会教育課長】現在、中国語はしていません。

【森委員】それで総合評価がCになっているのでしょうか。Cがあまりないのですが、ここがCになっていますので。

【坂東社会教育課長】これは、参加率だと思います。英会話教室は4カ所ですべて、土成は多いように聞いているのですが、阿波・市場・吉野の参加者数が少ないです。もう少し啓発をしていかなければというところです。韓国語教室については、今年度もしています。

【森委員】実際、市内には中国の方が結構いると思うのですが。

【成谷学校教育課長】阿波市在住の外国人ということで、28 年度末に調べたことがあります。中国の方が 195 名でした。次いで、ベトナムの方が 99 名、フィリピン 26 名、タイ・カンボジアその他となります。

【森委員】韓国は。

【成谷学校教育課長】韓国は、26 名以下ですがおられます。

【西淵委員】韓国ドラマの影響で、中高年のニーズがあるのかなと思われ。

【森委員】中国の方が多いはずなのに、肝心の中国語教室ができていなくて、少ないはずの韓国語教室ができていたのでどうなのかなと思って。学びたいというニーズがないこういった事業は進めにくいということですね。わかりました。

【重清委員】26 ページの特別支援教育コーディネーターというのは、すべての幼稚園、小学校、中学校に置かれているのですか。

【森委員】学校で校務分掌として必ず決めてあります。できるだけ特別支援学

級の担任をしていたとか、今現在もしているとか、その関係の研修を積んでいる人を充てています。

【重清委員】 経験豊富な方を置かれているのですね。わかりました。28 ページの日本語指導の支援について、指導対応が不足しているのではと思ったことがありました。学校訪問で中学校に行った時でしたが、中国人のお母さんに子どもさんの学校での様子等通訳できる方が、週に1回しか来られないということで不便さを感じました。日本語指導が必要な児童生徒が増えれば、さらに支援体制を整えなければならないとされていますので、今後も支援拡充を考えていただきたいと思います。加配というのは難しいとお伺いましたが、どうでしょうか。

【坂東教育長】 この中学校に対しては、加配を要望して受けていただいております。1週間をとおしてではないのですが、ほかの先生方も熱心にかかわっていただいております。また、小学校にも1年生と3年生に中国の子どもさんが2学期から転入してきます。

【森委員】 低学年の子は日本語を習得するのが早いんですね。柿原小学校でいた時に、1年生に日本語が不安な子が転入してきたのですが、お母さんが1週間くらい子どもと一緒に授業に入って、補助したり、わからないところは横から教えたりしていました。子どもはすぐに慣れて、それ以降補助はいりませんでした。だから、低学年くらいだったら大丈夫じゃないかなと思います。

【湯藤教育次長】 この小学校でも、しばらくは教頭先生が専属でつくようにして、教頭先生がだめな時は校長先生がつくように考えられているようです。学校教育課には北岡先生もおいでますので、サポートできるようなこともお伝えしています。県でも帰国・外国人児童生徒いきいき事業というのがありますので、そちらも申し込む予定です。ただ、申し込みはしますが、派遣されるかどうかはわかりません。お母さんもこちらで仕事をされるそうですが、しばらくは学校について行けるそうです。森委員もおっしゃられていたように、早く慣れていただければと思います。

【西淵委員】 お聞きしたいことが何点かあるのですが、51 ページの市外部活動の合宿受入についてアンケートを実施したとありますが、アンケート結果はどうだったのでしょうか。

【坂東社会教育課長】 ここに結果がありますが、例えば「阿波市を合宿地を選ぶとしたら、どんな支援があれば行きたいですか。」という問いに、宿泊費の助成が70%、交通費の助成19.6%、送迎バスなど移動手段の助成が13%と金銭面での助成がほしいというようなことでした。サークルや体育会系の部活、文化系の部活といろいろあったので一概には言えませんが、宿泊だっ

たら食事がついているだとか、中でも、施設と宿泊地が近いということが一番要望があるのかなと思います。9月早々には、短期間ですがフットサルの合宿で来られる団体があります。その方たちにも、どういったところなら来てくれるか等アンケートをとるとともに、今後もアンケートを実施して、施設面も含め環境等を充実させられるようなことをしていきたいと考えています。

【森委員】 県外から来てもらうとなると、施設・設備がもう少し充実してないと厳しいですね。施設の近くに学校があるとか、そこで合同の練習会をするとかないとなかなか来てもらえないでしょう。県外に行くと、広い敷地に体育館や球場があって、サッカー場やテニスコートもある総合的な施設がありますよね。そんなところを考えると、阿波市の施設は見劣りしますよね。

【西淵委員】 25 ページのカウンセリング能力の向上のところですが、普段から気になっていることがあるのですが、現在、性的少数派と言われる児童生徒が実際にいて、悩みを打ち明けるような事例があるのかということと、それに対応できる専門のカウンセラーはいるのかということをお尋ねします。全国的にかなり人数が増えてきている問題だと思います。

【湯藤教育次長】 統計的には、かなり増えてきているということは聞いておりますが、阿波市にということになると把握できておりません。

【西淵委員】 それは相談がないということですか。

【湯藤教育次長】 今のところ、相談はありません。

【西淵委員】 子どもにも聞いたのですが、そういう人に対しての人権的な授業も一切ないということなので、これからあるであろう問題なら、前もって対処していくことも考えていただけたらと思います。

【湯藤教育次長】 人権教育課題の中にも入っておりますし、年間計画や学校、児童生徒の実態に応じて立案して授業を行っております。人権課題もたくさんありますので、すべてを網羅するということは難しいですが、きめ細かく対応していかなければならないことだとは認識しております。

【西淵委員】 たぶんいないことはないと思いますので、それが悩みでいじめや不登校につながってはいけませんので、また検討していただきたいと思います。

【坂東教育長】 心に悩みを持っている子どもというのは、表面的にはわかりませんが、先生方は常に観察して子どもに変わったところはないだろうかという視点で見るとというのが生徒理解の一番だと思います。もうひとつは、ここにも書いてありますように、年2~3回いじめ調査のアンケートをしています。ふた月に1回アンケートをしているところもあるのですが、そこから子

子どもがちょっとした信号を出していないかを見ます。また、各中学校にはスクールカウンセラーが配置されています。ただ残念ながら、スクールカウンセラーというのは、不登校の子どもに対応するものだという認識が根強いです。いつも校長先生方をお願いしているのは、スクールカウンセラーを集団活動や学期の始めに一緒に出てもらって、子どもたちにもスクールカウンセラーを理解してもらうことで「カウンセラーとちょっと話してみようかな。」という意識が高まってくると思っていますので、そのような意識を高めるためにも、何の行事の時にもそばで見てもらって、子どもが気軽に話せる状況を作ってくださいとお願いしています。

【西淵委員】 もう一点よろしいですか。33 ページの幼・小・中・高等学校の連携強化ですが、小1プロブレム、中1ギャップ、それともうひとつ気になっているのが、高校に入ってから不登校となる高1クライシスです。中高一貫の阿波西高校に進学する生徒たちは、ほぼ顔なじみなのでそういうことはほとんどないようですが、中学校までは活躍していたような生徒が市外へ進学した後、学校に行けなくなってしまったとか、自分の個性を出せないというような話をよく耳にすることがあります。中高一貫の阿波西高校では、十分連携は取られているとは思っていますので、他校へ進学する生徒たちのことにも気を配っていただければと思います。

【湯藤教育次長】 学校間でのやり取りというのは、情報交換の会であるとか、担当間で話をしたりする機会がありました。フォローまでということになるとなかなか難しいですが。

【西淵委員】 中学校で和気あいあいと楽しく過ごせているというのは大変いいことですが、一歩外に出てだめになる生徒がいるということを知るとちょっと考えさせられる部分もあります。

【森委員】 85 ページの所見のところ、「豊かな心の育成事業における人権教育、道徳教育の推進において、いじめの記述がありません。」とあるのですが、そのもととなるものはどこかと言うと、14 ページの豊かな心の育成のところだと思います。ここでの評価はAとなっています。「生命を大切に
する心や思いやりの心を育成するなどの積極的な指導をお願いします。」というふうに言われていますので、いじめについて記載しておいた方がいいのでしょうか。いじめを防止できるような優しい心を育てることや人間関係を育てるといような文言を今後入れていった方がいいのかなとも思います。

ちょっと話は変わりますが、いじめの件数の調査が県から来て報告すると思うのですが、最近どうでしょうか。

【湯藤教育次長】 いじめの考え方、定義がだいぶ変わってきて、件数としては

増えてきています。今までは、「けんかは除く」となっていたのですが、今年3月の基本方針の改定では、けんかであっても背景にある事情の調査を行い判断するというようになっていました。今年も問題行動基本調査をしましたが、いじめの件数は昨年度より増えております。当然の結果だと思います。

【森委員】 基準が変わればね。いじめた方はいじめたつもりはなくても、相手が一方的にいじめられたと解釈してしまえば、それはいじめに入ることですからかなり数が増えると思いますよね。

【湯藤教育次長】 我々が言う社会通念上のいじめと法的ないじめというのはかなり差がありますが、法的ないじめをベースにして、とにかくしっかり子どもたちと積極的にかかわっていきましょう、きめ細かく対応をしていきましょうというような流れになっております。認知件数が上がるのは当然であると思います。

【重清委員】 小学校、中学校の両方で増えているのですか。

【湯藤教育次長】 はい、増えています。

【重清委員】 ちょっと言われて嫌と思ったらいじめだし、その場その場で対応できるいじめもありますしね。

【森委員】 どこにでもあるもとだという認識のもと、子どもたちにかかわっていかなければならないというようなことが言われていますのでね。

【坂東教育長】 いじめについて書いてあるところは他にありますか。

【成谷学校教育課長】 25 ページにあります。

【大戸井委員】 人権教育、道徳教育に絡めた表現がないという意味ですね。

【坂東教育長】 そういう意味ですね。ご意見をいただきましたので、そういう文言を来年は入れましょうか。

【重清委員】 34、35 ページの教育施設の充実に取り組まれているところですが、34 ページには土成中学校、吉野中学校、大俣小学校とありますが、これはもうできているのでしょうか。

【猪尾教育総務課長】 吉野中学校屋上の防水は28年度に終わりました。吉野中学校校舎の大規模改修は来年度予定しております。大俣小学校体育館の改修も終わっています。

【重清委員】 今回、体育館がどうかおっしゃられてなかったですか。

【猪尾教育総務課長】 八幡小学校体育館の改修です。それは、順番から言ったら次の次くらいですね。これから予定しているのは、吉野中学校校舎の大規模改修が来年度、再来年度に一条小学校校舎の大規模改修、その後に八幡小学校体育館です。

【重清委員】 その後は。

【猪尾教育総務課長】今のところはそこまでです。

【重清委員】伊沢小学校のトイレは。

【猪尾教育総務課長】伊沢小学校のトイレは、来年度にどうにかやりたいと考えています。今年度は間に合わないですけども。

【重清委員】計画に入れてくださっているのありがたいです。それと、42ページの避難場所に指定されている公民館の耐震改修の予定は決まっていますか。

【坂東社会教育課長】八幡公民館と大俣公民館の耐震ができていませんが、八幡については、耐震診断の設計についての指名審査を9月1日に予定しています。本年度中には耐震診断を終える予定となっております。その結果を受けて、来年度どういったかたちで耐震工事を行うか決めていきます。また、大俣公民館についても来年度当初から耐震診断をしていきたいとは考えています。

【重清委員】地震はいつ起こるかわかりませんので、よろしくをお願いします。

【大戸井委員】公民館は、震度7の地震に1回程度は耐えられるくらいですね。

【猪尾教育総務課長】I S値が0.6以上あれば1回程度は耐えられますが、八幡公民館と大俣公民館は耐震をしてないので値はわかりかねます。

【大戸井委員】市役所は、震度7の地震が2回来ても大丈夫ですか。

【猪尾教育総務課長】ここは免震構造になっていますし、まず大丈夫かと思えます。

【大戸井委員】免震というのは横揺れだけで、直下型はまた違いますよね。

【猪尾教育総務課長】そうですね。

【森委員】自治会長会の時、私の地区から「足の悪い人やお年寄りや近くの集会所に避難できるようにしたらどうか」という意見を出してありました。

もし、その集会所の耐震ができてない場合、市が補助金を出してくれるのであれば地区でもいいと皆言っておりました。私の近所の集会所は、比較的新しいので耐震はできているようです。ただ、市が指定している公民館や学校といった一次避難場所であれば、市の職員がそこでお世話をしたり、防災センターなどと連絡をとりながらいろいろできるのですが、近くの集会所へ避難した場合には、そこまでは手が回らないので、食事の手配や必要な物資の配給といったところまでは十分できないようなことを言われました。一次避難場所に指定されているということは、早くどうにかしないと大変なことになりはしないかと思えます。

【坂東教育長】森委員がおっしゃられているのは、自治会の集会所のようなど

ころですよ。

【森委員】 そうなのですが、結局、ハザードマップには公民館が書いてあるんですか。

【坂東教育長】 はい、公民館も書かれています。集会所については、まず自分たちでやりましょうという感じですね。

【坂東社会教育課長】 避難所といっても、地震、洪水、土砂災害で変わってくると思います。洪水の場合、八幡公民館は浸かるので、避難場所にならないと思います。

【森委員】 とにかく、公民館の耐震ができてないと聞きましたので、地震の時に避難場所が一番潰れたのではどうかと思ひまして。公民館を一次避難場所に指定するくらいですから、市は優先的にしてくれるはずですよ。

【妹尾教育次長】 地震の時の避難場所は、八幡小学校の体育館でなかったですか。

【坂東社会教育課長】 そうですね。公民館が避難場所に指定されていたら、IS値0.6以上という基準がさらに高く設定されるので、基準値以上になるよう工事しなければなりません。

【重清委員】 49 ページの体力向上指導員は、増員せずに1名でいかれているのですか。

【坂東社会教育課長】 はい。1名で行っています。

【重清委員】 すごく評判がいいですからね。幼稚園の先生方も一緒に学べて、指導員がいない時でも、先生方が同じように指導できるくらい評価が高いです。大変かと思いますが、頑張ってくださいと思います。それと、総合型地域スポーツクラブというのは、阿波・市場地区にも設立されているのでしょうか。

【坂東社会教育課長】 3カ所で設立されていて、市場地区だけありません。

【重清委員】 54 ページの徳島駅伝の成績向上支援で力を入れてほしいのは、昨年、一昨年と応援に行かせていただきましたが、中学生から社会人の方まですごく頑張っておられます。他郡市で手厚く指導されているところのように、阿波市でも同等の指導ができるような指導者の育成とか指導力をアップさせるような秘策のようなものはありますか。

【坂東社会教育課長】 教育長の報告にもありましたが、今月20日に強化委員会総会が開かれました。年間をとおして、火曜と金曜に緑の丘スポーツ公園で夜間練習会を行っております。その間でも、中・長距離の記録会に参加したりしています。

【西淵委員】 今年の4月から週2回練習会があつて、夏休み中は朝夕の練習と

記録会もしてくださっています。監督さんは本当に熱心にしてくださっています。

【重清委員】66 ページの青少年健全育成で、中学生を対象にした講演会を年1回実施とありますが、4年に1回どこかの中学校を回っていているということでしょうか。それとも、毎年どこか1カ所に集まって講演されるのですか。

【坂東教育長】これは健全育成の事業ですので、阿波中学校だけです。

【重清委員】ということは、4年に1回各中学校に回ってくるということですか。

【坂東教育長】そうですね。

【大戸井委員】今年はどこでする予定ですか。

【坂東社会教育課長】今年度は、10月下旬頃に市場中学校で行う予定としております。

【重清委員】これは生徒対象ですか。

【坂東社会教育課長】市場中学生とその保護者です。

【大戸井委員】どなたが来られるのですか。

【坂東社会教育課長】講師については、学校側と相談しながらということですので、まだ決定していません。また確認しておきます。

【坂東教育長】「平成28年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」を承認する旨を告げる。

(5) 準要保護の認定について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【成谷学校教育課長】準要保護の認定について説明。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「準要保護の認定について」を了承する旨を告げる。

(6) その他

【坂東教育長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【湯藤教育次長】運動会について。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】 本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成29年8月28日

教 育 長

教育長職務代者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課係長